

第 1 問答案用紙

問題 1

問 1

- | | | |
|-------------|----------------------|---|
| ① 損益分岐点売上高 | <input type="text"/> | 円 |
| ② 安全余裕率 | <input type="text"/> | % |
| ③ 損益分岐点比率 | <input type="text"/> | % |
| ④ 経営レバレッジ係数 | <input type="text"/> | |
| ⑤ 資本回収点売上高 | <input type="text"/> | 円 |
| ⑥ 総資本営業利益率 | <input type="text"/> | % |
| ⑦ 資本回転率 | <input type="text"/> | 回 |
| ⑧ 売上高営業利益率 | <input type="text"/> | % |

問 2

損益分岐点売上高 円

問 3

売上高営業利益率 11%を達成する売上高 円

問 4

総資本営業利益率 15%を達成する売上高 円

問題 2

問 1

損 益 計 算 書

(単位：円)

I 売上高		
II 標準変動売上原価		
1 期首製品棚卸高		
2 当期製品製造原価		
計		
3 期末製品棚卸高		
変動標準製造マージン		
III 標準変動販売費		
標準限界利益		
IV 原価差額		
実際限界利益		
V 固定費		
直接原価計算による営業利益		
固定費調整額		
全部原価計算による営業利益		

問 2

販売価格差異	円	不利・有利
販売数量差異	円	不利・有利
直接材料費差異	円	不利・有利
直接労務費差異	円	不利・有利
変動製造間接費差異	円	不利・有利
変動販売費差異	円	不利・有利

第2問答案用紙

評 点

問1

損益分岐点売上高 円

問2

損益分岐点売上高 円

問3

A 製品 個 B 製品 個

問4

実績損益計算書

(単位：円)

I. 売上高	_____	_____
II. 標準変動費		
1. 製造原価		
2. 販売費	_____	_____
標準限界利益		
III. 原価差額		_____
実際限界利益		
IV. 固定費		
1. 製造原価		
2. 販売費	_____	_____
営業利益（直接原価計算）		_____
固定費調整額		_____
営業利益（全部原価計算）		_____

問5

販売価格差異

A 製品

B 製品

販売数量差異

A 製品

B 製品

直接材料費差異

A 製品

B 製品

直接労務費差異

A 製品

B 製品

変動製造間接費差異

変動販売費差異

A 製品

B 製品

固定製造間接費差異

固定販管費差異

問6

売上品数量差異

A 製品

B 製品

売上品構成差異

A 製品

B 製品

問7

A 製品

B 製品

第 3 問答案用紙

問題 1

問 1

製品 A	<input type="text"/>	単位	製品 B	<input type="text"/>	単位	製品 C	<input type="text"/>	単位
営業利益額	<input type="text"/>		千円					

問 2

千円

問 3

製品 A	<input type="text"/>	単位	製品 B	<input type="text"/>	単位	製品 C	<input type="text"/>	単位
営業利益額	<input type="text"/>		千円					

問 4

千円

問題 2

問 1

マ ー ク ア ッ プ 率 %

問 2

(単位：円)

全部原価計算損益計算書

	第 1 四半期	第 2 四半期
売上高	<input type="text"/>	<input type="text"/>
差引：売上原価		
期首製品有高		
当期完成品製造原価	<input type="text"/>	<input type="text"/>
計	<input type="text"/>	<input type="text"/>
期末製品有高	<input type="text"/>	<input type="text"/>
売上原価	<input type="text"/>	<input type="text"/>
原価差異	<input type="text"/>	<input type="text"/>
修正売上原価	<input type="text"/>	<input type="text"/>
売上総利益	<input type="text"/>	<input type="text"/>
差引：販売管理費	<input type="text"/>	<input type="text"/>
営業利益	<input type="text"/>	<input type="text"/>

直接原価計算損益計算書

	第 1 四半期	第 2 四半期
売上高	<input type="text"/>	<input type="text"/>
売上原価		
期首製品有高		
当期完成品製造原価	<input type="text"/>	<input type="text"/>
計	<input type="text"/>	<input type="text"/>
期末製品有高	<input type="text"/>	<input type="text"/>
変動売上原価	<input type="text"/>	<input type="text"/>
変動販売管理費	<input type="text"/>	<input type="text"/>
貢献利益	<input type="text"/>	<input type="text"/>
差引：固定費		
固定製造間接費	<input type="text"/>	<input type="text"/>
固定販売管理費	<input type="text"/>	<input type="text"/>
営業利益	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問3

販売量が1,240個(より大きい・と等しい・より小さい)場合には直接原価計算の営業利益の方が大きくなる。

問4

評 点

第 4 問答案用紙

問題 1

問 1

損益分岐点売上高 円

問 2

損益分岐点売上高 円

問 3

安全余裕率 % 経営レバレッジ係数

問 4

資本利益率達成売上高 円

問 5

資本利益率達成売上高 円

問題 2

予算営業利益 万円

販売価格差異 万円 ()

販売数量差異

市場規模差異 …… 万円 ()

市場占有率差異 …… 万円 ()

販売数量差異計 万円 ()

変動費差異

製造原価差異 …… 万円 ()

販売費差異 …… 万円 ()

変動費差異計 万円 ()

限界利益差異 万円 ()

固定費差異 万円 ()

実際営業利益 万円

問題 3

直接原価計算 円 全部原価計算 円

第5問答案用紙

評 点

問1

予算実績比較損益計算書(A事業部)			(単位:円)
	予 算	実 績	差 異
I 売上高			
II 標準変動売上原価			
III 標準変動販売費			
標準限界利益			
IV 原価差額	—		
実際限界利益			
V 個別固定費			
()			
VI 共通固定費配賦額			
営業利益			
	予 算	実 績	差 異
B事業部の営業利益			

問2

	(単位:円)			(単位:円)	
販売活動差異	A 製 品	B 製 品	製造活動差異 (A製品のみ)	A 製 品	
販売価格差異			材料価格差異		
販売数量差異			材料数量差異		
変動販売費差異			賃率差異		
固定販売費差異			作業時間差異		
販売活動差異合計			変動費予算差異		
			変動費能率差異		
			固定費予算差異		
			製造活動差異合計		

問3

問4

(単位：円)

差異名	A 製品	B 製品
()		
()		
差異合計		

問5

A事業部実績損益計算書 (単位：円)

⋮	⋮
実際限界利益	
V 管理可能個別固定費	
管理可能利益	
VI 管理不能個別固定費	
事業部利益	
VII 共通固定費配賦額	
事業部純利益	

問6

限界利益 (売上差益)	
管理可能利益	
事業部利益	
事業部純利益	

問7

A事業部の事業部長のROIは %であり， B事業部長のROIは %である。従って，
 事業部の事業部長の業績の方が良かったといえる。

第6問答案用紙

評 点

問1

円

問2

時間

問3 括弧内には、「有利」・「不利」・「－」を明記すること（以下同様）。

	製 品 A	製 品 B	合 計
販 売 価 格 差 異	円 ()	円 ()	円 ()
販 売 数 量 差 異	円 ()	円 ()	円 ()
変 動 売 上 原 価 価 格 差 異	円 ()	円 ()	円 ()
変 動 売 上 原 価 数 量 差 異	円 ()	円 ()	円 ()
変 動 販 売 費 価 格 差 異	円 ()	円 ()	円 ()
変 動 販 売 費 数 量 差 異	円 ()	円 ()	円 ()

評 点

第 7 問答案用紙

問題 1 ※不要な語句は二重線で削除すること。

問 1

変動製造原価	円/個
--------	-----

問 2

自製する方が()円有利であるため、自製すべきで(ある ・ ない)。

問 3

()個(以上 ・ 以下)であれば、自製するほうが有利である。

問題 2

問 1

余剰生産能力	時間
--------	----

問 2

--

問 3

--

問題 3

問 1

(1)	(2)	(3)
円	円	個

問 2

()案の方が

 円 有利である。

第8問答案用紙

評 点

問題1

問1 (単位:円)

	A事業部損益計算書
売上高	
変動費	
売上差益	
管理可能個別固定費	
管理可能利益	
管理不能個別固定費	
事業部利益	
事業部外固定費	
純利益	

問2

事業部総投下資本純利益率 %

問3

問4

B事業部を継続した方が 円 (有利・不利)であるからB事業部を(存続する・廃止する)べきである。

問5

現状案 } が { 現状案 } よりも 円 有利なので { 現状案 } を採用すべきである。
代替案1 }
代替案2 }
代替案3 }

問題 2

問 1

- (1) 千円 (2) %
- (3) % (4) 年
- (5) % (6) %

問 2

問 3

代替案	現時点	1年度末	2年度末	3年度末
現有設備(①)	千円	千円	千円	千円
新規設備(②)	千円	千円	千円	千円
②-①	千円	千円	千円	千円

問 4

新規設備に取替えをする方が 千円 (有利・不利)であるから取替えを実施 (する・しない) べきである。

第9問答案用紙

評 点

問題 1

問 1

_____ 百万円

問 2

_____ 百万円

問 3

_____ 百万円

問 4

_____ 百万円

問 5

_____ 百万円

問 6

正味現在価値が _____ 百万円 であるから、(有利 ・ 不利) な投資プロジェクトである。

問 7

内部利益率が _____ % であるから、(有利 ・ 不利) な投資プロジェクトである。

問 8

問題 2

問 1

社 債	優先株	普通株
%	%	%

問 2

	%
--	---

問 3

	現 在	第 1 年度末	第 2 年度末
旧 機 械	万円	万円	万円
新 機 械	万円	万円	万円

問 4

	現在 (第 1 年度期首)	第 1 年度末	第 2 年度末	正味現在価値
① 旧 機 械	万円	万円	万円	万円
新 機 械	万円	万円	万円	万円

() 機械の方が 有利

問 4

	現在 (第 0 年度末)	第 1 年度末	第 2 年度末	正味現在価値
② 旧 機 械	万円	万円	万円	万円
新 機 械	万円	万円	万円	万円

() 機械の方が 有利

問 5

	現在 (第 1 年度期首)	第 1 年度末	第 2 年度末	正味現在価値
① 旧 機 械	万円	万円	万円	万円
新 機 械	万円	万円	万円	万円

() 機械の方が 有利

問 5

	現在 (第 0 年度末)	第 1 年度末	第 2 年度末	正味現在価値
② 旧 機 械	万円	万円	万円	万円
新 機 械	万円	万円	万円	万円

() 機械の方が 有利